

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月26日

豊田市長 殿



提出者

住所 愛知県豊田市トヨタ町1番地  
 氏名 トヨタ自動車株式会社  
 代表取締役社長 佐藤 恒治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0565-28-2121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

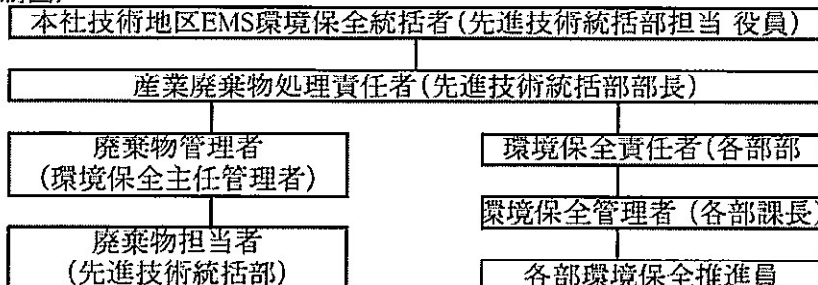
事業場の名称	トヨタ自動車株式会社 本社技術
事業場の所在地	愛知県豊田市トヨタ町1番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事業

①事業の種類	31輸送用機械器具製造業
②事業の規模	—
③従業員数	13,883 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→再生処理業者に委託し路盤材として再資源化 廃油→再生処理業者に委託しエマルジョン処理後燃料として再資源化 廃酸→再生処理業者に委託し中和し他用途原材料として再資源化 廃アルカリ→再生処理業者に委託しエマルジョン処理後燃料として再資源化 廃プラスチック→圧縮処理を実施し燃料として再資源化 →破碎処理を実施し他用途原材料として再資源化 木屑→再生処理業者に委託し破碎後他用途原材料として再資源化 金属屑→再生処理業者に委託し破碎後他用途原材料として再資源化 ガラス陶磁器屑→再生処理業者に委託し焼却後多用途原材料として再資源化 ガラ陶金属屑廃プラ(電機器)→破碎処理後多用途原材料として再資源化 汚泥金属屑(乾電池)→選別処理後多用途原材料として再資源化 金属屑廃プラガラ陶(自動車)→圧縮・破碎後多用途原材料として再資源化

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事業

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	排出量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物低減テーマ登録活動と、目標達成に向けての進捗管理実施。</li> <li>・使用可能不用品の情報展開、再使用。</li> <li>・有償化への推進活動。</li> <li>・使用材料の変更等。</li> </ul>	
②計画	【目標(令和5年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	排出量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の対応を確実に継続させる。</li> </ul>	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部環境保全推進員及び廃棄物投棄場管理者による分別指導実施</li> <li>・投棄場への分別表示。</li> </ul>
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・投棄場への分別表示の見やすく分かりやすいものへ改善</li> <li>・事業所内の廃棄物投棄ルールのホームページでの表示の改善</li> </ul>

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない	
②計画	【目標(令和5年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・特に実施の予定なし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙参照
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙参照
(これまでに実施した取組) ・廃アルカリ、廃酸の処理を自社排水処理場で実施している。 ・鉍さいの鋳物砂の処理を自社他工場にて実施している。 ・廃プラスチックの処理を自社焼却炉で実施している。		
②計画	【目標(令和5年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙参照
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙参照
(今後実施する予定の取組) ・現状の対応を確実に継続させる。		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない	
②計画	【目標(令和5年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・特に実施する予定なし	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	全処理委託量	別紙参照
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙参照
	再生利用業者への処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・処理費に関係なく、より環境に良い処理委託を実施し、最終処分量の発生を抑えている。 ・優良認定業者を優先的に活用実施。	

②計画	【目標(令和5年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	全処理委託量	別紙参照
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙参照
	再生利用業者への 処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組)	
・現状の対応を確実に継続させる。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分野の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙

トク自動車株式会社 本社校街

各項目	産業廃棄物の種類		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・プラスチック	水銀使用製品	かたき項	廃自動車	安定型混合廃棄物	複合材	単位:t
	排出量	前年度実績 (令和4年度) 目標														
産業廃棄物の 排出の期間に 関する事項	前年度実績 (令和4年度)	22.19	33.28	90.52	184.62	473.70	180.12	0.68	7.21	3.43	0.91	63.36	0.00	8.12	1,068.15	
	目標 (令和5年度)	20.00	30.00	90.00	180.00	470.00	170.00	0.50	7.00	3.00	0.80	60.00	0	8.00	1,030.30	
自らが行う 産業廃棄物の 再生利用に 関する事項	自らが再生利用を 行った産業廃棄物の 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自らが熱回収を 行った産業廃棄物の 量	0	0	0	0	182.93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	182.93
自らが行う 産業廃棄物の 中間処理に 関する事項	自らが中間処理 により減量した 産業廃棄物の 量	0	0	0	0	180.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	180.00
	自らが中間処理 により減量した 産業廃棄物の 量	0	0	0	0	137.20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137.20
自らが行う 産業廃棄物の 処理区分又は 海洋投入処分 に関する事項	自らが処理区分 又は海洋投入 処分を行った 産業廃棄物の 量	0	0	0	0	135.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	135.00
	自らが処理区分 又は海洋投入 処分を行った 産業廃棄物の 量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の 処理の委託に 関する事項	全処理委託量	22.19	33.28	90.52	184.62	427.97	180.12	0.68	7.21	3.43	0.91	63.36	0.001	8.12	1,022.42	
	目標 (令和5年度)	20.00	30.00	90.00	180.00	385.00	170.00	0.50	7.00	3.00	0.80	60.00	0	8.00	904.30	
産業廃棄物の 処理の委託に 関する事項	優良認定 処理業者への 処理委託量	12.68	31.21	61.09	143.63	168.30	180.12	0.27	1.53	0	0	0	0.001	0	598.84	
	目標 (令和5年度)	15.00	30.00	62.00	150.00	80.00	170.00	0.30	2.00	0	0	0	0	0	509.30	
産業廃棄物の 処理の委託に 関する事項	再生利用業者 への 処理委託量	0	31.21	0	1.34	127.70	180.12	0	0.45	0	0.91	0	0	0	341.73	
	目標 (令和5年度)	0	30.00	0	2.00	125.00	170.00	0	1.00	0	0.80	0	0	0	328.80	
産業廃棄物の 処理の委託に 関する事項	認定 熱回収業者 への 処理委託量	9.51	2.07	0.002	0	31.10	0	0.41	5.23	0	0	0	0	0	56.44	
	目標 (令和5年度)	9.00	2.00	1.00	0	30.00	0	0.30	5.00	0	0	0	0	0	55.30	
産業廃棄物の 処理の委託に 関する事項	認定委託業者 以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量	0.13	0	0	0	0	0	0.27	1.53	0	0	0	0	0	1.93	
	目標 (令和5年度)	0.10	0	0	0	0	0	0.20	1.00	0	0	0	0	0	1.30	